第４学年　特別活動（学級活動）

第４学年の学習到達目標

(1)　学校や学級の生活の充実と向上を目指す。
(2)　生活や学習への適応及び健康や安全についての見方や考え方を養う。

第４学年の学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	**学級の目標を決めよう**	４年生としての自覚を持ち，楽しい学級づくりをするようにする。	学級の目標
	学級の係と席を決めよう①	係や班の目的を知り，がんばろうとする態度を育てる。	係と席決め
	１年生を迎える会の準備をしよう	１年生を温かくむかえてあげるにはどうすればよいか考える。	１年生をむかえる会
	忘れ物をなくそう	忘れ物をする原因について考え，忘れ物をしない態度を育てる。	忘れ物をなくす
	話し合いのきまりを話し合おう	話し合いのきまりについて考え，お互いを認め合う態度を育てる。	話し合いのきまり
	班活動の計画について話し合おう	友達と協力して目標を作り，実行するように努力する。	班活動の計画
	スポーツ大会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	スポーツ大会
	仲良し会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	お楽しみ会
	梅雨時の安全な通学について考えよう	梅雨時の安全な通学の仕方について知り，正しく通学できるようにする。	安全な通学の仕方
	雨の日の遊びを考えよう	雨の日の上手な過ごし方について考える。	雨の日の過ごし方
	図書館の利用の仕方を知ろう	図書館の決まりを理解し，上手に利用する方法を考える。	図書室の利用の仕方
	班活動の反省をしよう	これまでの班活動をふり返り，よりよくしようとする態度を育てる。	班活動の反省
	お楽しみ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	お楽しみ会
	夏休みの過ごし方を考えよう	自分に合った計画を立て，有意義な過ごし方について考える。	夏休みの過ごし方
	９月のめあてを決めよう	各自のめあてを考え，努力する態度を育てる。	９月のめあて
	係と席を決めよう②	夏休み前の反省をもとに，協力してがんばろうとする態度を育てる。	係と席決め
	読書発表会をしよう	読んだ本について紹介し合い，いろいろな本に親しむ態度を育てる。	読書発表会
後期	**班活動の見直しをしよう**	班活動をふり返り，協力してがんばろうとする態度を育てる。	班活動の見直し
	仲良し会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	お楽しみ会
	スポーツ大会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	スポーツ大会
	壁新聞コンクールをしよう	壁新聞作りを通して，協力して活動する態度を育てる。	壁新聞コンクール
	遊びのルールについて考えよう	みんなで楽しく遊ぶにはどうすれば良いか考える。	遊びのルール

後期	**楽しい給食の時間にしよう**	食べ方や片付け方をふり返り，楽しい給食の時間について考える。	給食の時間
	班活動の反省をしよう	これまでの班活動をふり返り，よりよくしようとする態度を育てる。	班活動の反省
	お楽しみ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	お楽しみ会
	冬休みの過ごし方を考えよう	有意義な冬休みの過ごし方について考える。	冬休みの過ごし方
	スポーツ大会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	スポーツ大会
	新年のめあてを決めよう	各自のめあてを考え，努力する態度を育てる。	新年のめあて
	寒さに負けず外で遊ぼう	みんなで楽しく遊べる遊びを考えさせ，外で遊べるようにする。	外遊び
	学級文集を作ろう	１年間をふり返り，各自の思い出を文集にする。	学級文集
	クラブ活動についてふり返ろう	クラブ活動についてふり返り，次学年での活動への意欲を高める。	クラブ活動
	６年生を送る会の準備をしよう	お世話になった６年生に感謝の気持ちをもつ。	６年生を送る会
	正しい姿勢について考えよう	正しい姿勢を保ち，健康に過ごそうとする態度を育てる。	正しい姿勢
	学級お別れ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし，仲良くなるようにする。	学級お別れ会
	１年間を振り返り，５年生に向かってがんばろう	１年間を振り返り５年生になるための心構えを持つ。	１年間の反省
	春休みを楽しく過ごそう	有意義な春休みの過ごし方について考える。	春休みの過ごし方

○　活動計画の内容は，その時の学級の実態などに応じて変更することもあります。

評価の観点・方法

学級活動は，他の教科と異なり，よい子のあゆみなどで示す評定はありません。
学級活動は大きくは二つの内容に分かれます。一つが「学級や学校の生活の充実と向上に関する内容」で，もう一つが「日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関する内容」です。
前者は，主に教師の指導のもとに，児童が自ら考えたり話し合ったりします。後者は，学校生活や行事に合わせ，教師が計画的に指導内容の重点化を図りながら進めていきます。
評定には現れませんが，児童がこれらの活動を通して，集団の一員として友達と協力してよりよい生活を築こうと活動しているか，さらに，心身の調和のとれた発達と個性の伸長が図れたかなどを評価していきます。
多くは，教師の観察や児童自身の自己評価などを参考に総合的に評価をしていきます。
また，活動そのものがどうであったかを振り返る観点としては，「話し合うべき事項に対する意見が多く出されたか」「児童による自主的な活動が行われたか」「多くの意見を採り上げることができたか」などがあげられます。

使用材教等

学習の興味を高め，理解を深めるために，題材に応じて，絵や実物模型，写真，ＶＴＲ，心のノートなどを活用します。

留意事項

(1)　学級や児童の様子や実態に応じて内容の変更もしながら，よりよい指導を目指します。
(2)　いろいろな活動で，指導者やゲストティーチャーが必要になる場面があります。学校便りや学年・学級便りでもお知らせしますので，児童の願いや思いが実現できますよう，ご支援，ご協力をお願いします。

その他

学校行事や「１年生を迎える会」「６年生を送る会」などの児童会行事とも連携させながらコミュニケーション能力や人とのかかわり能力を身につけていきます。